

令和2年度

# 当初予算の概要



戸田市の財政案内人  
おさいふくん

埼玉県 戸田市

# 目次

◇令和2年度 戸田市当初予算の概要	1
◇令和2年度 戸田市一般会計・特別会計歳入歳出予算	2
◇一般会計予算規模の推移	2
◇歳入予算の概要	3
◇市税（当初予算額）の推移	3
主な科目の増減内容	4
◇歳出予算の概要	5
目的別分類	5
主な科目の増減内容	5
性質別分類	7
主な増減内容	7
◇歳入歳出構成比	8
◇市税の状況	9
◇主な事業（施策別）	11
1 子どもの成長と生涯にわたる学びのまち	11
2 誰もが健康でいきいきと生活できるまち	15
3 安心して安全に暮らせるまち	18
4 緑と潤いのあるまち	22

5 快適で過ごしやすいまち	23
6 活力と賑わいを創出できるまち	26
7 人が集い心ふれあうまち	27
8 着実な総合振興計画の実行に向けて	29
◇子育て環境の充実に向けた組織づくり	30
◇経費の削減、財源の確保に向けた実践的な取り組み	31
◇消費税率の引上げ分に係る地方消費税交付金の使途について	33
◇競艇事業収益金充当に関する調	34
◇防災減災基金充当に関する調	35
◇森林環境譲与税の使途について	35
◇令和2年度 戸田市水道事業会計予算	36
◇令和2年度 戸田市下水道事業会計予算	37
◇予算マップ	38





## ◇令和2年度 戸田市当初予算の概要

令和2年度 一般会計予算額	597億7,900万円 (前年度比 +43億5,900万円 +7.9%)
特別会計合計	224億1,314万8千円 (前年度比 △6億3,009万2千円 △2.7%)
企業会計合計	81億7,435万1千円 (前年度比 △1億2,297万6千円 △1.5%)
※水道事業会計及び下水道事業会計	
<b>全会計合計</b>	<b>903億6,649万9千円</b> (前年度比 +36億593万2千円 +4.2%)

一般会計は、戸田市文化会館の改修等に伴う総務費の増加により、全体では約43億5千9百万円の増加となっています。

特別会計は、介護保険の介護給付費等の影響による増や、新曽第一土地区画整理事業の宅地整備事業や補償費の増があるものの、国民健康保険の給付費や国民健康保険事業費納付金等の影響による減により、特別会計全体では約6億3千万円の減少となっています。

これにより、全会計合計で約36億5百万円の増加となっています。

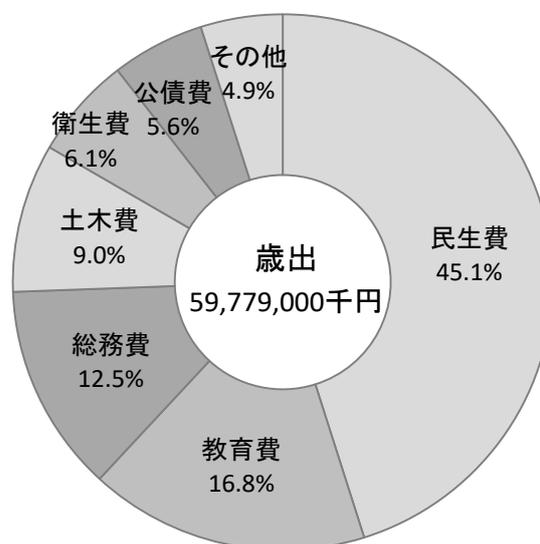
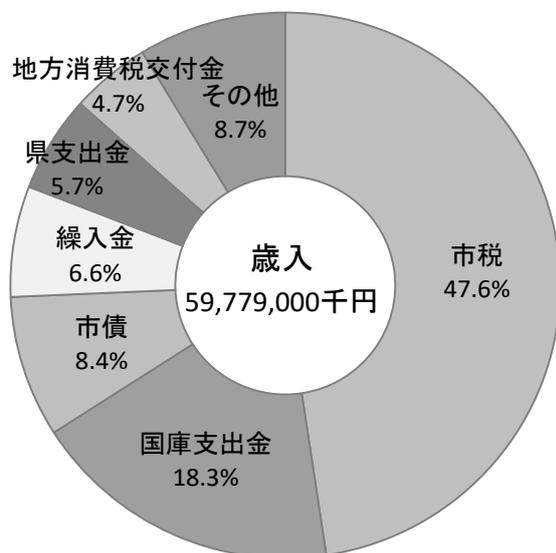
### ●一般会計歳入の主な増減

・市税	一約8千5百万円 (-0.3%)	…法人市民税の減等により
・国庫支出金	+約10億5千3百万円 (+10.6%)	…民生費国庫負担金の増等により
・繰入金	+約16億3千4百万円 (+71.4%)	…財政調整基金の取崩し等により
・市債	+約13億8千7百万円 (+37.9%)	…総務債の増等により

### ●一般会計歳出の主な増減

・総務費	+約19億9千6百万円 (+36.4%)	…戸田市文化会館の改修工事等により
・民生費	+約15億3百万円 (+5.9%)	…施設等利用給付事業の増等により
・商工費	一約5千8百万円 (-9.5%)	…商工調整事業の減等により
・教育費	+約2億4千9百万円 (+2.6%)	…戸田東小・中学校の改築工事等により

## 一般会計歳入歳出構成比



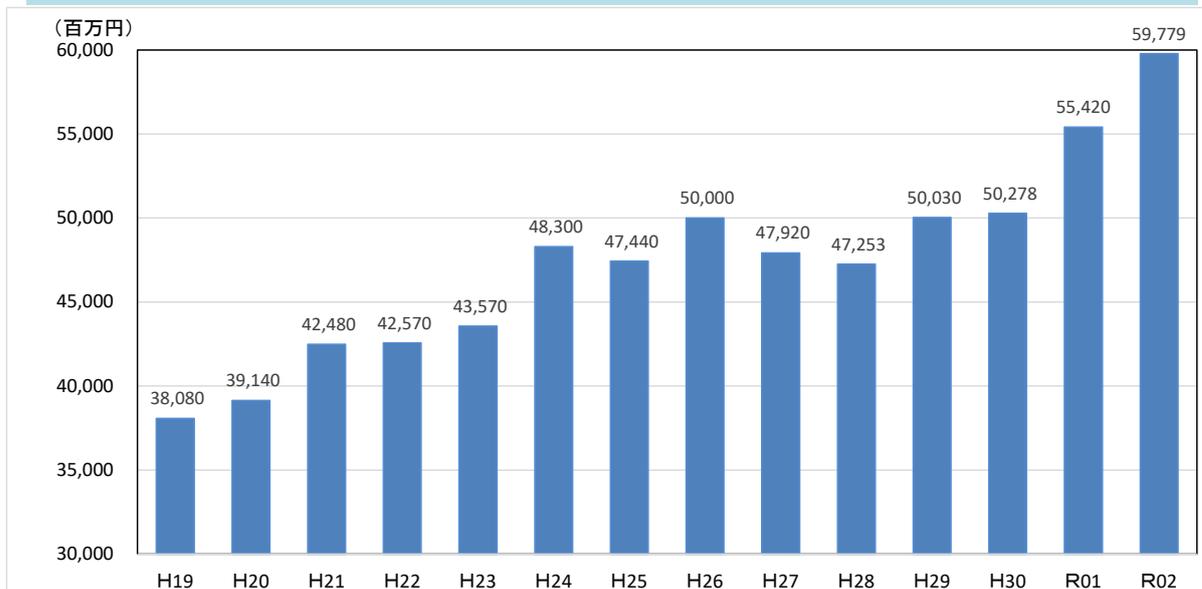
## 令和2年度 戸田市一般会計・特別会計歳入歳出予算

### 令和2年度 一般会計・特別会計予算額一覧表

(単位：千円)

会計名		令和2年度	令和元年度	比較	対前年度伸率(%)
一般会計		59,779,000	55,420,000	4,359,000	7.9
特別会計	国民健康保険	10,556,904	11,596,809	△ 1,039,905	△ 9.0
	市民医療センター	855,142	941,974	△ 86,832	△ 9.2
	交通災害共済事業	5,590	6,044	△ 454	△ 7.5
	海外留学奨学事業	13,118	12,991	127	1.0
	火災共済事業	2,783	2,785	△ 2	△ 0.1
	新曽第一土地区画整理事業	1,685,000	1,292,332	392,668	30.4
	介護保険	7,053,419	6,632,597	420,822	6.3
	新曽第二土地区画整理事業	895,600	1,252,213	△ 356,613	△ 28.5
	後期高齢者医療	1,254,130	1,186,997	67,133	5.7
	在宅介護支援事業	91,462	118,498	△ 27,036	△ 22.8
	特別会計合計	22,413,148	23,043,240	△ 630,092	△ 2.7
合計		82,192,148	78,463,240	3,728,908	4.8

### ○一般会計予算規模の推移



### ○一般会計・特別会計予算額

4.8%増

一般会計においては、戸田市文化会館の改修工事等により総務費が約19億9千6百万円の大幅な増額となっています。

また、特別会計において、新曽第一土地区画整理事業については約3億9千2百万円増、介護保険については介護サービス給付費等の伸びにより約4億2千万円増となったものの、新曽第二土地区画整理事業については、約3億5千6百万円減、国民健康保険については、給付費や国民健康保険事業費納付金の減に伴い約10億3千9百万円の大幅な減となったことから、特別会計全体としては約6億3千万円減少しています。

これらにより、令和2年度の一般会計及び特別会計の合計額は82億1千921万4千8百円、前年度に比べ、約3億7千282万8千円(率で4.8%)の増となっています。

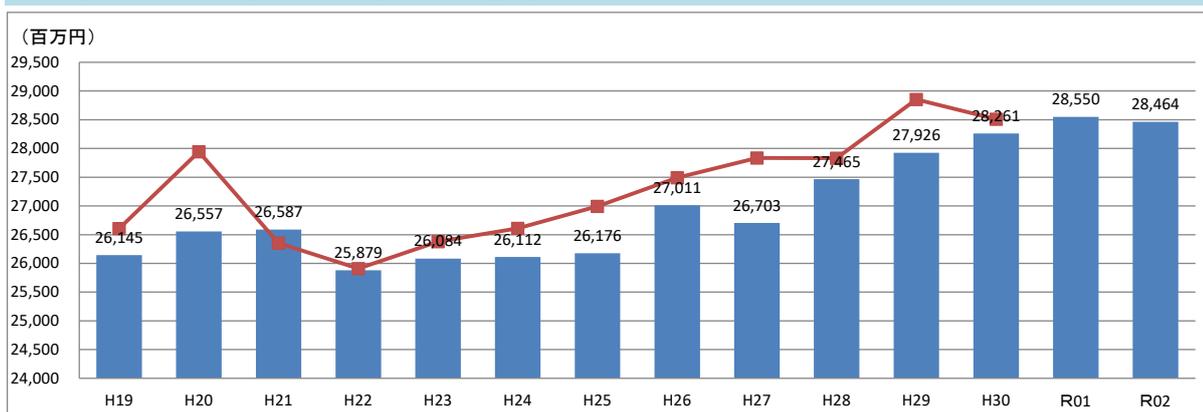
## ■歳入予算の概要

### 一般会計款別集計表 (歳入)

(単位：千円)

款	令和2年度	令和元年度	比較	対前年度 伸率(%)	構成比(%)
1 市 税	28,464,109	28,550,038	△ 85,929	△ 0.3	47.6
2 地 方 譲 与 税	227,000	227,000	0	0.0	0.4
3 利 子 割 交 付 金	18,000	36,000	△ 18,000	△ 50.0	0.0
4 配 当 割 交 付 金	120,000	110,000	10,000	9.1	0.2
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	90,000	90,000	0	0.0	0.2
6 法 人 事 業 税 交 付 金	263,000	0	263,000	皆増	0.4
7 地 方 消 費 税 交 付 金	2,800,000	2,500,000	300,000	12.0	4.7
8 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	7,000	7,000	0	0.0	0.0
9 環 境 性 能 割 交 付 金	35,000	16,000	19,000	118.8	0.1
10 地 方 特 例 交 付 金	180,000	160,000	20,000	12.5	0.3
11 地 方 交 付 税	20,000	20,000	0	0.0	0.0
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	18,000	18,000	0	0.0	0.0
13 分 担 金 及 び 負 担 金	505,908	947,894	△ 441,986	△ 46.6	0.9
14 使 用 料 及 び 手 数 料	564,221	661,941	△ 97,720	△ 14.8	0.9
15 国 庫 支 出 金	10,947,144	9,893,939	1,053,205	10.6	18.3
16 県 支 出 金	3,422,885	2,987,463	435,422	14.6	5.7
17 財 産 収 入	290,710	275,441	15,269	5.5	0.5
18 寄 附 金	15,578	82,628	△ 67,050	△ 81.1	0.0
19 繰 入 金	3,923,393	2,288,750	1,634,643	71.4	6.6
20 繰 越 金	750,000	750,000	0	0.0	1.3
21 諸 収 入	2,100,851	2,118,905	△ 18,054	△ 0.9	3.5
22 市 債	5,016,201	3,638,001	1,378,200	37.9	8.4
自 動 車 取 得 税 交 付 金	0	41,000	△ 41,000	皆減	—
歳 入 合 計	59,779,000	55,420,000	4,359,000	7.9	100.0

## ■市税（当初予算額と決算額）の推移



※棒グラフ … 予算 折れ線グラフ … 決算 数値は予算額

## ○主な科目の増減内容（単位：千円）

### 分担金及び負担金

46.6%減

分担金及び負担金については、主なものとして、保育無償化に伴う民間保育園保育料の減となっています。

- ・保育園保育料 △441,145 (916,700 → 475,555)

### 国庫支出金

10.6%増

主なものとして、戸田東小学校・戸田東中学校改築等工事に伴い、公立学校施設整備費及び学校施設環境改善交付金（施設整備事業）が増となっています。また、保育無償化に伴い、子育てのための施設等利用給付交付金が増となっています。

- ・子育てのための施設等利用給付交付金 +515,480 (0 → 515,480)
- ・公立学校施設整備費 +130,522 (100,135 → 230,657)
- ・学校施設環境改善交付金（施設整備事業） +128,620 (120,410 → 249,030)

### 県支出金

14.6%増

県支出金については、県負担金の障害者児入所給付費の増や、県委託金である統計調査費委託金の増となっています。

- ・障害者自立支援給付費 +17,516 (346,904 → 364,420)
- ・施設型給付費 +192,163 (545,537 → 737,700)
- ・多子世帯応援クーポン事業費 +2,383 (3,000 → 5,383)
- ・子育てのための施設等利用給付交付金 +257,740 (0 → 257,740)
- ・国勢調査 +73,238 (336 → 73,574)

### 繰入金

71.4%増

繰入金については、防災減災基金繰入金は、防災又は減災の事業を実施するため1億円の新規計上、また、財政調整基金は、約13億9百万円の増、公共施設等整備基金は、施設整備費の増加のため2億2千5百万円の増となっています。

- ・財政調整基金 +1,309,075 (1,177,000 → 2,486,075)
- ・防災減災基金 +100,000 (0 → 100,000)
- ・公共施設等整備基金 +225,000 (890,000 → 1,115,000)

### 諸収入

0.9%減

競艇事業収入については、前年度と同額の5億円となっています。また、さくら川整備事業負担金について、事業の状況に伴い減となっています。

- ・さくら川整備事業負担金 △23,865 (179,388 → 155,523)

### 市債

37.9%増

戸田東小学校・戸田東中学校改築等事業（Ⅰ・Ⅱ期）、文化会館改修事業、喜沢南保育園改築事業等に市債を活用しています。市債全体としては、前年度と比較して約13億8千7百万円の増となっています。

- ・喜沢南保育園改築事業 105,000
- ・道路舗装整備事業 131,500
- ・公園施設改良・改修事業 58,000
- ・戸田東小学校・戸田東中学校改築等事業（Ⅰ・Ⅱ期） 2,684,000
- ・中学校屋内運動場空調設備設置 270,000
- ・笹目中学校教室棟（西棟）外壁及び構造等改修 200,000
- ・文化会館改修事業 1,339,100

## ■歳出予算の概要

### ①目的別分類

目的別分類は、歳出をその行政目的に応じて区分するもので、予算の「款」を基準としています。

(歳出：目的別)

(単位：千円)

款	令和2年度	令和元年度	比較	対前年度 伸率(%)	構成比(%)
1 議会費	394,193	406,244	△ 12,051	△ 3.0	0.7
2 総務費	7,486,738	5,489,897	1,996,841	36.4	12.5
3 民生費	26,974,742	25,470,748	1,503,994	5.9	45.1
4 衛生費	3,656,773	3,586,079	70,694	2.0	6.1
5 労働費	83,085	79,625	3,460	4.3	0.1
6 農林水産業費	9,382	7,982	1,400	17.5	0.0
7 商工費	558,882	617,549	△ 58,667	△ 9.5	0.9
8 土木費	5,360,671	5,088,265	272,406	5.4	9.0
9 消防費	1,727,148	1,596,352	130,796	8.2	2.9
10 教育費	10,008,411	9,758,613	249,798	2.6	16.8
11 災害復旧費	10	10	0	0.0	0.0
12 公債費	3,328,945	3,108,684	220,261	7.1	5.6
13 諸支出金	130,020	149,952	△ 19,932	△ 13.3	0.2
14 予備費	60,000	60,000	0	0.0	0.1
歳出合計	59,779,000	55,420,000	4,359,000	7.9	100.0

### ○主な科目の増減内容（単位：千円）

#### 総務費

36.4%増

市議会議員選挙費及び庁舎エレベーター改修工事が皆増、戸田市文化会館改修工事及び国政調査の実施に伴う委託統計調査事業が増となった一方で、参議院議員通常選挙費、知事選挙費及び県議会議員選挙費が皆減となっています。これらにより、総務費については、全体で約19億9千6百万円の増となっています。

- ・参議院議員通常選挙費 △48,611 (48,611 → 0)
- ・戸田市文化会館改修工事 +1,766,680 (23,210 → 1,789,890)
- ・庁舎エレベーター改修工事 +59,109 (0 → 59,109)
- ・市議会議員選挙費 +96,982 (0 → 96,982)
- ・委託統計調査事業 +69,854 (4,723 → 74,557)

#### 民生費

5.9%増

賃貸物件による保育所改修費等支援事業費が皆減、国民健康保険特別会計への繰出金が減となる一方で、施設等利用給付事業が皆増、自立支援給付事業、介護保険特別会計繰出金、民間保育所事業、学童保育室事業及び生活保護扶助費等が増となったため、民生費全体で約15億3百万円の増となっています。

- ・国民健康保険特別会計繰出金 △144,165 (1,281,413 → 1,137,248)
- ・介護保険特別会計繰出金 +141,328 (939,173 → 1,080,501)
- ・自立支援給付事業 +119,947 (1,964,761 → 2,084,708)
- ・施設等利用給付事業 +1,040,637 (0 → 1,040,637)
- ・民間保育所事業 +56,832 (4,441,383 → 4,498,215)
- ・学童保育室事業 +93,294 (556,734 → 650,028)
- ・生活保護扶助費 +222,244 (5,210,140 → 5,432,384)

**衛生費** 2.0%増

市民医療センター特別会計繰出金及び在宅介護支援事業特別会計繰出金が減となっているものの、各種予防接種費等の増により、衛生費全体で約7千万円の増となっています。

- ・市民医療センター特別会計繰出金  $\Delta 60,245$  (470,508 → 410,263)
- ・在宅介護支援事業特別会計繰出金  $\Delta 25,941$  (69,092 → 43,151)
- ・各種予防接種費 +64,420 (457,650 → 522,070)

**労働費** 4.3%増

人材確保支援事業委託料が皆増となっており、労働費については、全体で約3百万円の増となっています。

- ・人材確保支援事業委託料 +17,974 (0 → 17,974)

**農林水産業費** 17.5%増

美里町じゃがいも掘り企画・運営業務が増となっており、農林水産業費については、全体で約1百万円の増となっています。

- ・美里町じゃがいも掘り企画・運営業務 +105 (273 → 378)

**商工費** 9.5%減

戸田橋花火大会事業が増となっているものの、ふるさと納税に係る経費の減少に伴い商工調整事業が減となっています。これらにより、商工費については、全体で約5千8百万円の減となっています。

- ・戸田橋花火大会事業 +38,967 (67,611 → 106,578)
- ・商工調整事業  $\Delta 34,937$  (62,498 → 27,561)

**土木費** 5.4%増

新曽第二土地区画整理事業繰出金等については減となっているものの、上戸田川改修事業、新曽第一土地区画整理事業繰出金等が増となっています。これらにより、土木費については、全体で約2億7千2百万円の増となっています。

- ・新曽第一土地区画整理事業繰出金 +93,055 (844,541 → 937,596)
- ・新曽第二土地区画整理事業繰出金  $\Delta 62,073$  (418,068 → 355,955)
- ・上戸田川改修事業 +28,753 (173,379 → 202,132)

**消防費** 8.2%増

消防本部庁舎エレベーター設備工事の終了に伴い皆減となっているものの、消防施設費、デジタル通信システム整備事業が増となっています。これらにより、消防費については、全体で約1億3千万円の増となっています。

- ・消防施設費 +94,733 (142,204 → 236,937)
- ・デジタル通信システム整備事業 +102,521 (34,946 → 137,467)
- ・消防本部庁舎エレベーター設備工事  $\Delta 26,887$  (26,887 → 0)

**教育費** 2.6%増

図書館・郷土博物館設備改修及びスポーツセンター屋内プール新築工事の終了に伴い皆減となっているものの、戸田東小学校・戸田東中学校の改築や市内中学校屋内運動場空調設備設置等により小学校及び中学校の施設整備事業が増となっています。これらにより、教育費全体で、約2億4千9百万円の増となっています。

- ・小学校施設整備事業 +1,581,698 (1,098,248 → 2,679,946)
- ・中学校施設整備事業 +561,341 (1,766,376 → 2,327,717)
- ・図書館・郷土博物館設備改修  $\Delta 637,402$  (637,402 → 0)
- ・スポーツセンター屋内プール新築  $\Delta 1,322,270$  (1,322,270 → 0)

**諸支出金** 13.3%減

競艇事業売上見込により地方公共団体金融機構納付金が減となっています。そのため、諸支出金については、全体で約1千9百万円の減となっています。

- ・地方公共団体金融機構納付金  $\Delta 15,087$  (118,512 → 103,425)

## ②性質別分類

(歳出：性質別)

単位：千円

区 分		令和2年度	令和元年度	比 較	対前年度 伸率(%)	構成比(%)
義務的 経費	人 件 費	8,722,892	7,470,350	1,252,542	16.8	14.6
	扶 助 費	18,040,652	17,312,476	728,176	4.2	30.2
	公 債 費	3,328,945	3,108,684	220,261	7.1	5.6
	計	30,092,489	27,891,510	2,200,979	7.9	50.4
投 資 的 経 費		8,153,330	6,497,942	1,655,388	25.5	13.6
物 件 費		10,632,937	10,645,901	△ 12,964	△ 0.1	17.8
維 持 補 修 費		494,572	523,734	△ 29,162	△ 5.6	0.8
補 助 費 等		5,696,328	5,045,821	650,507	12.9	9.5
積 立 金		123,578	129,347	△ 5,769	△ 4.5	0.2
貸 付 金		329,179	381,308	△ 52,129	△ 13.7	0.6
繰 出 金		4,196,587	4,244,437	△ 47,850	△ 1.1	7.0
予 備 費		60,000	60,000	0	0.0	0.1
計		59,779,000	55,420,000	4,359,000	7.9	100.0

## ○主な増減内容 (単位：千円)

### 義務的経費

その支出が義務づけられ任意に削減できない経費で、人件費、扶助費、公債費をいいます。

7.9%増

扶助費では、障害者の自立支援給付事業、生活保護扶助費等が増、子育て支援関連として、施設等利用給付事業が皆増となったため、扶助費全体では前年度に比べ約7億2千8百万円の増となっています。また、人件費は前年度に比べ約12億5千2百万円の増、公債費は約2億2千万円の増となっています。

### 投資的経費

投資的経費とは、その支出の効果が資本形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るものに支出される経費をいい、普通建設事業費、災害復旧費がこれらに分類されます。

25.5%増

主に、新曾中学校教室棟増築等、図書館・郷土博物館設備改修、スポーツセンター屋内プール新築等の事業終了に伴い減になるものの、戸田東小学校・戸田東中学校改築、文化会館改修、中学校屋内運動場空調設備設置等の実施による増により、全体としては前年度比で約16億5千5百万円の増となっています。

- ・新曾中学校教室棟増築等  $\Delta 1,081,080$  (1,081,080  $\rightarrow$  0)
- ・図書館・郷土博物館設備改修  $\Delta 637,402$  (637,402  $\rightarrow$  0)
- ・スポーツセンター屋内プール新築  $\Delta 1,322,270$  (1,322,270  $\rightarrow$  0)
- ・戸田東小学校・戸田東中学校改築等  $+2,506,262$  (1,535,004  $\rightarrow$  4,041,266)
- ・文化会館改修  $+1,766,680$  (23,210  $\rightarrow$  1,789,890)
- ・中学校屋内運動場空調設備設置  $+360,107$  (0  $\rightarrow$  360,107)

### 繰出金

一般会計と特別会計相互間において支出される経費です。地方公営企業法が適用される事業への繰出金は補助費等に分類されます。

1.1%減

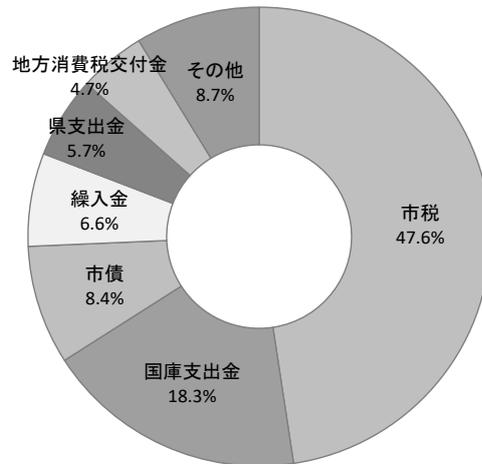
国民健康保険特別会計は国民健康保険事業費納付金等の影響により減となる一方で、介護保険特別会計は介護給付費等の影響により増、新曾第一土地区画整理事業については、事業の拡大により増となっていることから、繰出金全体では前年度比で約4千7百万円の減となっています。

- ・国民健康保険特別会計繰出金  $\Delta 144,165$  (1,281,413  $\rightarrow$  1,137,248)
- ・介護保険特別会計繰出金  $+141,328$  (939,173  $\rightarrow$  1,080,501)
- ・市民医療センター特別会計繰出金  $\Delta 60,245$  (470,508  $\rightarrow$  410,263)
- ・在宅介護支援事業特別会計繰出金  $\Delta 25,941$  (69,092  $\rightarrow$  43,151)
- ・新曾第一土地区画整理事業繰出金  $+93,055$  (844,541  $\rightarrow$  937,596)
- ・新曾第二土地区画整理事業繰出金  $\Delta 62,073$  (418,068  $\rightarrow$  355,995)

## ○歳入・歳出構成比

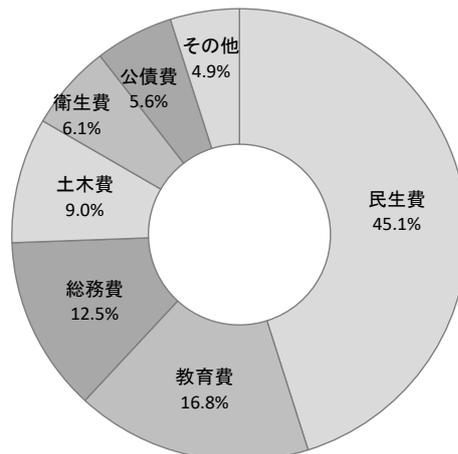
### 歳入

歳入  
59,779,000千円



### 歳出（目的別）

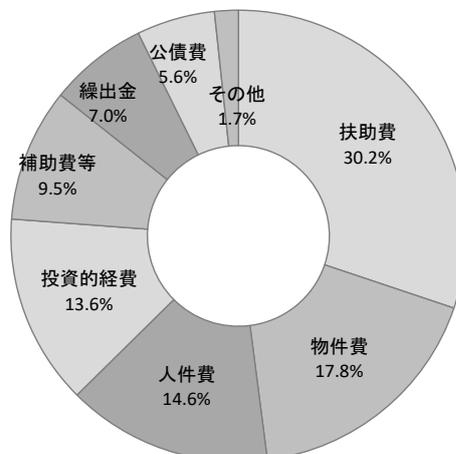
歳出  
59,779,000千円



### 歳出（性質別）

歳出  
59,779,000千円

義務的経費 50.4%  
(扶助費、人件費、公債費)



## ■市税の状況

市民税（個人・法人）は令和元年度と比較して、現年課税分と滞納繰越分の合計で、約2億5千2百万円の減となっています。この内、個人市民税は人口増加等に伴い約1億2千8百万円の増、法人市民税は税制改正等に伴い約3億8千百万円の減となっております。また、固定資産税は約1億5千4百万円の増となっており、市税全体の予算総額は約284億6千4百万円で、約8千5百万円の減となっています。

なお、平成30年度の市税全体の決算額は、約285億1千2百万円、また、令和元年度の3月補正後の市税全体の予算現額は、約295億1千万円が見込まれています。

### 1. 現年課税分

(単位：千円)

区分	年度	令和2年度			令和元年度			前年度当初予算額との比較	
		当初調定見込額	当初予算額	徴収率	当初調定見込額	当初予算額	徴収率	金額	伸率
市民税	個人	10,529,686	10,361,211	98.4%	10,396,595	10,230,249	98.4%	130,962	1.3%
	法人	2,071,015	2,066,873	99.8	2,453,452	2,448,545	99.8	△381,672	△15.6
	計	12,600,701	12,428,084	98.6	12,850,047	12,678,794	98.7	△250,710	△2.0
固定資産税	固定資産税	12,615,245	12,539,553	99.4	12,464,104	12,389,318	99.4	150,235	1.2
	国有資産等所在市交付金	365,092	365,092	100.0	373,274	373,274	100.0	△8,182	△2.2
	計	12,980,337	12,904,645	99.4	12,837,378	12,762,592	99.4	142,053	1.1
軽自動車税	種別割	122,167	119,479	97.8	117,779	114,952	97.6	4,527	3.9
	環境性能割	4,338	4,338	100.0	1,446	1,446	100.0	2,892	200.0
	計	126,505	123,817	97.9	119,225	116,398	97.6	7,419	6.4
市たばこ税		999,966	999,966	100.0	1,007,017	1,007,017	100.0	△7,051	△0.7
都市計画税		1,825,079	1,814,127	99.4	1,805,929	1,795,093	99.4	19,034	1.1
合計		28,532,588	28,270,639	99.1	28,619,596	28,359,894	99.1	△89,255	△0.3

### 2. 滞納繰越分

(単位：千円)

区分	年度	令和2年度			令和元年度			前年度当初予算額との比較	
		当初調定見込額	当初予算額	徴収率	当初調定見込額	当初予算額	徴収率	金額	伸率
市民税	個人	492,107	110,231	22.4%	543,602	113,069	20.8%	△2,838	△2.5%
	法人	17,844	4,568	25.6	14,724	3,769	25.6	799	21.2
	計	509,951	114,799	22.5	558,326	116,838	20.9	△2,039	△1.7
固定資産税		229,520	67,478	29.4	223,575	62,824	28.1	4,654	7.4
軽自動車税		7,731	1,468	19.0	7,443	1,414	19.0	54	3.8
都市計画税		33,080	9,725	29.4	32,272	9,068	28.1	657	7.2
合計		780,282	193,470	24.8	821,616	190,144	23.1	3,326	1.7

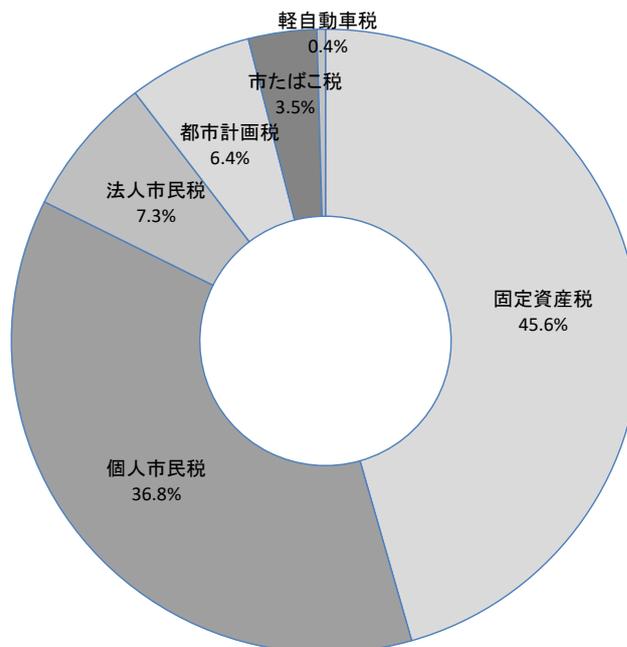
### 3. 合計

(単位：千円)

区 分	年 度	令和2年度		令和元年度		前年度当初予算額との比較	
		当初調定見込額	当初予算額	当初調定見込額	当初予算額	金 額	伸 率
市 民 税	個 人	11,021,793	10,471,442	10,940,197	10,343,318	128,124	1.2%
	法 人	2,088,859	2,071,441	2,468,176	2,452,314	△ 380,873	△ 15.5
	計	13,110,652	12,542,883	13,408,373	12,795,632	△ 252,749	△ 2.0
固 定 資 産 税	固 定 資 産 税	12,844,765	12,607,031	12,687,679	12,452,142	154,889	1.2
	国 有 資 産 等 所 在 市 交 付 金	365,092	365,092	373,274	373,274	△ 8,182	△ 2.2
	計	13,209,857	12,972,123	13,060,953	12,825,416	146,707	1.1
軽 自 動 車 税		134,236	125,285	126,668	117,812	7,473	6.3
市 た ば こ 税		999,966	999,966	1,007,017	1,007,017	△ 7,051	△ 0.7
都 市 計 画 税		1,858,159	1,823,852	1,838,201	1,804,161	19,691	1.1
合 計		29,312,870	28,464,109	29,441,212	28,550,038	△ 85,929	△ 0.3

### 4. 市税の構成比

市税  
28,464,109千円



## 1 子どもの成長と生涯にわたる学びのまち

### ●小・中学校防犯カメラシステム【教育総務課】

4,045 千円

市内の小学校・中学校の防犯カメラ設備について、導入後10年以上が経過したことから入替えを行う。

※予算額については、小学校分と中学校分の合計額

### ●戸田東小学校・中学校改築等（Ⅰ・Ⅱ期）工事関連事業【教育総務課】 4,148,442 千円



【完成イメージ】

現在実施している戸田東小学校・戸田東中学校改築等工事（Ⅰ・Ⅱ期）について、令和2年度で3年目を迎え、令和3年度の開校に向けて引き続き工事等を進める。

※予算額については、小学校分と中学校分の施設整備事業費の合計額

### ●小・中学校屋内運動場空調設備設置【教育総務課】

377,800 千円



昨今の夏の猛暑で、市内小中学校において体育館の使用を制限するなど、学校運営に支障をきたしている。

今後の学校カリキュラムや児童生徒の体調管理等への影響を考慮し、体育館への空調設備導入に向けて、令和2年度は中学校の屋内運動場空調設備の設置に向けて工事を行う。

また、小学校については、令和3年度の設置工事に向けて設計業務を行う。

※写真は施工例

### ●教育政策シンクタンクにおけるデータ等整備事業【教育政策室】

4,071 千円

今年度、「戸田市教育政策シンクタンク」を設立し、本市の教育政策に関する総合的な調査研究を行っている。

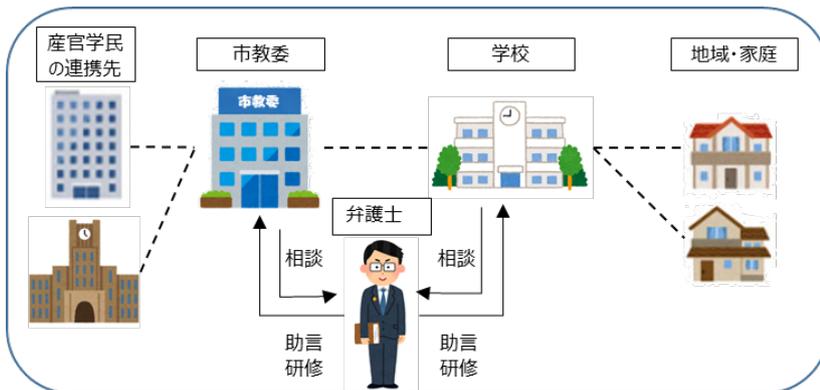
今後、教育政策シンクタンクがEBPM推進の核となり主体的な研究推進を行うにあたり、専門的な知見を含む外部機関を活用していく。新たなデータの収集をはじめとしたシンクタンクの調査・研究を効果的・効率的に行うためのデータ等整備事業を実施する。

●教育委員会法務アドバイザー事業【教育政策室】

600 千円

近年、学校における問題の複雑化、多様化に伴い、学校における法律相談等のニーズ、事件・事故未然防止のためのコンプライアンス意識向上の必要性、様々な連携先との法的調整の必要性が増してきている。

これらの課題に対応するため、法的事項に係る助言や教員等に対する研修会等を実施する弁護士（教育委員会法務アドバイザー）を配置する。



●中学校教育相談支援事業【教育政策室】

4,930 千円

現在、中学校へのスクールカウンセラーの配置は6校中3校が週1回、残りの3校が隔週で1回となっている。新たに、市独自にスクールカウンセラーを配置し、全中学校で週1回以上の定期訪問を実施する。

●小学校放課後補習授業業務【教育政策室】

9,840 千円

子供達の放課後の勉強時間の確保や学習習慣の定着による学力向上など、多様なニーズを持つ児童への学習機会の提供による学力の底上げ等を目的として、市内全小学校において、放課後の学習支援事業「とだっ子学習クラブ」を実施している。

民間のノウハウを活用し、「とだっ子学習クラブ」を「とだっ子ゼミナール」にリニューアルし、安定的な人材確保と質の向上を図る。



●民間保育施設への運営費支弁及び補助事業【保育幼稚園室】

120,631 千円

保育所等入所の待機児童を解消のため、民間認可保育所に対して助成を行い、保育所等受入枠の拡大を図る。民間保育所は既存の36園に加え、令和2年度1園が開園する。

令和2年度新設1園

- ・(仮称)アロウラ保育園(定員60人)

【国庫支出金 44,629 千円】

【県支出金 21,908 千円】

【保育料等 8,433 千円】



●新卒保育士就職準備金貸付事業費補助事業【保育幼稚園室】

8,050千円

新卒保育士の採用に際して保育事業者が給付又は貸付を実施する額(20万円)のうち、埼玉県の補助額(15万円)に当市がその差額(5万円)を上乗せで補助を行う。

●午睡チェックセンサー導入事業【保育幼稚園室】

2,688 千円



保育園入所児童の午睡時に、呼吸確認及び記録作成を保育士が行っている。新たに、午睡チェックセンサーを公立保育園に導入し、保育士の目視による確認との二重チェックを行い、午睡中の予期せぬ突然死等の事故防止対策の強化を図る。

●民間学童保育室の誘致に伴う補助金交付(学童保育室待機児童対策)  
【児童青少年課】

25,348 千円

待機児童を解消するため、民間学童保育室に国・県の交付基準額に合わせた運営費の補助を行う。待機児童が見込まれる保育需要の高い地域を中心に、令和2年度は新たに2室の民間学童保育室が開室する。

■令和2年度新設室(合計75人) ※ ( )内は定員を示す。

- ・学童教室オリーブ新曽教室(30人)
- ・学童 CLUB merry attic kukuna(メリーアティック ククナ).(45人)

【国庫支出金 6,799千円】

【県支出金 7,671千円】

●戸田市オリンピック・パラリンピック推進事業【文化スポーツ課】

50,307 千円

2020 年に開催される東京オリンピック・パラリンピックの気運を高めるため、聖火リレーや関連イベントを実施する。

また、令和元年12月に戸田市、オーストラリアカヌーチーム、海外姉妹都市であるリバプール市の三者間で「事前トレーニングキャンプ実施に係る覚書」が締結されたことを契機に、戸田市がオーストラリアのホストタウンに登録された。事前キャンプへの対応や交流イベント等を開催し、オリンピック・パラリンピックを通じた市民の人的・文化的な交流を促進する。



聖火台



調印式の様子（令和元年12月3日）

●「新曽青少年の広場」の新設【児童青少年課】

11,518 千円

主に中高生を中心とした青少年が、フットサルやバスケットなどのボール遊びのほか多目的に利用できる施設青少年の広場を、現在の「本町青少年の広場」と「中町青少年の広場」の2か所に加え、「新曽青少年の広場」を新設する。



●彩湖自然保全ゾーン周辺の自然体験・観察事業【生涯学習課】

93 千円

彩湖自然保全ゾーンは、通常施錠されており、中に立ち入ることができない場所となっている。彩湖を管理する荒川上流河川事務所と連携を図り、年に2回、自然保全ゾーンにおいて自然体験・観察事業を実施する。

## 2 誰もが健康でいきいきと生活できるまち

### ●難聴言語通級指導教室「ことばの教室」充実事業【教育政策室】

4,595 千円

小学校の難聴言語通級指導教室「ことばの教室」は、発音に誤りのある子、吃音のある子、言語発達遅滞のある子などの課題のある児童が、通常の学級に在籍しながら通級指導教室設置校に通い、課題に応じた個別的な指導を受ける教室である。現在は、新曽小学校（3教室）と美女木小学校（2教室）の2校（合計5教室）で実施している。

新たに、土曜日と日曜日に教育センターにおいて、言語聴覚士等による「ことばに関する教育相談」を実施する。また、担当教員の指導力向上を図るため、アドバイザーを派遣し、指導方法等のサポートを図る。

### ●子育て世代包括支援センター機能の強化【福祉保健センター】

450 千円

平成28年から設置している子育て世代包括支援センターの機能を強化するため、翻訳機等を活用し、在留外国人への子育て支援を充実させることにより、妊婦面接率向上を図り、戸田市版ネウボラ（※）の一層の推進に取り組む。

※ネウボラ…フィンランド語で「アドバイスの場」という意味があり、妊娠期から出産・子育て期にわたるまでの切れ目のない支援をする仕組み

### ●福祉総合相談事業【福祉総務課】

7,574 千円

本庁舎1階の「生活自立相談センター」内に、福祉に関する第一的な相談窓口として「福祉総合相談窓口」を設置する。「福祉総合相談窓口」にて相談を受け付けることにより、「どこに相談したら良いかわからない」といった市民にとってわかりやすく、相談しやすい環境を整備する。

### ●被保護者健康管理支援事業【生活支援課】

3,710 千円

生活保護受給者の健康や生活の質の向上及び医療扶助の適正化を図るため、現状の医療や健康等の情報を調査・分析する。その結果に基づき、医療機関への受診勧奨や保健指導などを行い、医療費の適正化に努め、生活習慣病の発症予防や重症化予防等を推進していく。

## ●健康福祉の杜備品購入【長寿介護課】

23,021 千円

健康福祉の杜で使用している機械浴槽、機械浴槽用搬送車及び介護用電動ベッドは、老朽化しているため、設備交換を行い、入所者の安全確保や、円滑な介護サービスの提供を引き続き実施する。

## ●スマートウエルネスシティ事業の推進【福祉保健センター】

1,382 千円

少子高齢化が進むなか、高齢になっても地域で健康に、生きがいを持って安心、安全で豊かに暮らせるまち（スマートウエルネスシティ）を目指す、「戸田市版スマートウエルネスシティ構想」をより一層推進する。推進にあたり庁内職員の理解を深めるため、職員研修を行うとともに市民向けの講演会を行う。また、「埼玉県コバトン健康マイレージ事業（※）」にて、参加意欲が湧くような魅力的な市独自のインセンティブを用意することにより、健康無関心層の参加を増加させることを目指す。

※埼玉県コバトン健康マイレージ事業

事業に参加している自治体の18歳以上の住民を対象に、ウォーキングの取り組み状況に応じてポイントが付与されるもので、ポイントを貯めると抽選で埼玉県内の特産品などの賞品が贈られる。

## ●セルフ健康チェックサービスの導入【福祉保健センター】

1,089 千円

30歳代健康診査の対象となる前年の29歳を対象に、スマートフォン等と検査キットを利用して自宅にいながら手軽に血液検査を行うことができる、セルフ健康チェックサービスを導入する。

現在の健康状態を把握するとともに、今後の継続的な定期健診受診へと繋げる。



## ●介護予防や見守り体制の充実【長寿介護課】

3,997 千円

高齢者が住み慣れた地域で、元気に安心して暮らし続けることができるよう、介護予防や見守りを目的とした場を創出する。

### ■TODA元気体操（※）の教室立上げ支援

「TODA元気体操」の指導・サポートを行う介護予防リーダー養成講座を実施し、教室の立ち上げを支援する。

※TODA元気体操

重りを手首や足首につけ、簡単な運動を行い、筋肉・バランス能力を高める体操

教室への参加を通じて、高齢者の筋力、バランス能力の向上を図るとともに、地域の人同士のつながりを促進し、地域内の相互の見守り体制を構築する。



TODA元気体操の教室の様子

●地域包括ケアシステムの深化・推進【長寿介護課】

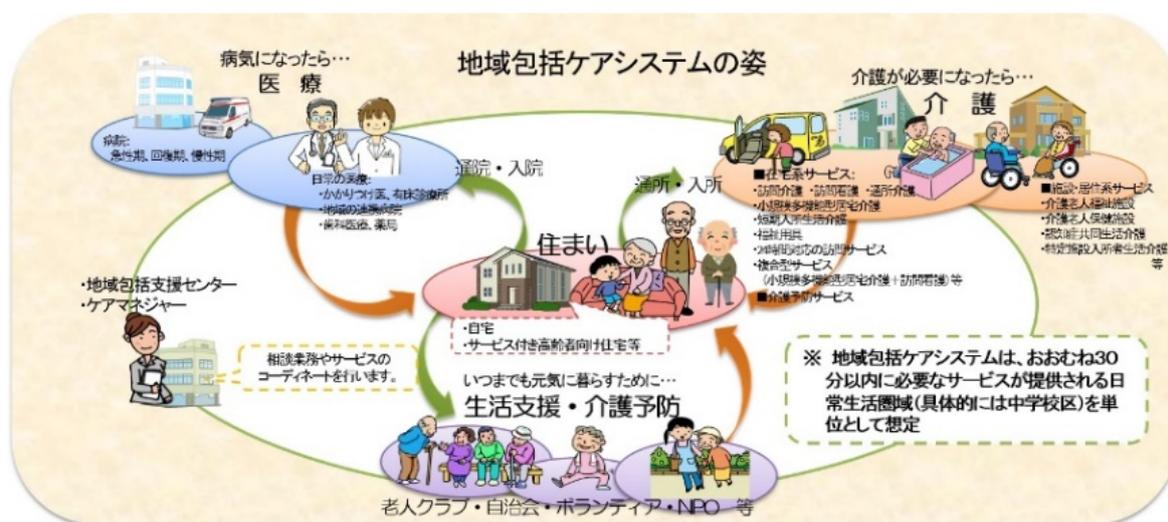
364,422 千円

介護が必要な状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしが継続できるよう、5つの施策（介護予防・日常生活支援総合事業、生活支援サービス、認知症施策、在宅医療・介護の連携、地域包括支援センター機能強化）を進めていく。

■令和3～5年度までの3か年を計画期間とする第8期介護保険事業計画を策定する。

■自立支援型地域ケア会議（※）の実施

（※）高齢者の生活の質（QOL）向上や自立を支援するため、医療・介護に携わる専門職の助言を踏まえ、一人ひとりの支援方法を検討する会議



地域包括ケアシステム(イメージ)

出典：厚生労働省

●認知症総合支援事業【長寿介護課】

14,470 千円

認知症になっても安心して暮らせるまちをつくることを目指して、認知症サポーター等による認知症の人やその家族への個別支援や関係機関とのネットワークづくりを行うことで地域における認知症のケア体制を構築する。

■認知症地域支援推進員の配置

認知症総合支援事業の推進を目的として、市内4か所の地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置している。

■認知症サポーターの増員

認知症の基本的な知識や認知症の人への対応の仕方等を学ぶ認知症サポーター養成講座を開催する。

■チームオレンジの構築に向けた基盤整備

認知症サポーターや地域住民が、認知症の人の困りごとに対する支援(外出支援、見守りなど)をチームで支えていく仕組み

### 3 安心して安全に暮らせるまち

#### ●災害用医薬品、食糧、発電機等の備蓄【危機管理防災課】

6,653 千円



備蓄用の医薬品、食糧、発電機等を購入し、災害時に救護所となる市民医療センターに備蓄する。

#### ●河川監視カメラシステム更新業務【危機管理防災課】

9,347 千円

大雨時の河川氾濫への備えとして市内を流れる5河川（菖蒲川、緑川、上戸田川、笹目川、さくら川）に設置している河川監視カメラについて、導入から5年を経過していることや運用に支障が生じている現状を踏まえ、更新を行う。これにより、常時監視ができる安定した環境を構築し、危険が想定される場合には迅速に対応できる体制を整備するとともに、収集した河川の静止画を防災啓発情報として公開することにより、市民の防災意識の向上を図る。

#### ●小学校屋内運動場非常用発電機設置工事業務【危機管理防災課】

33,189 千円

大規模災害時の避難所の停電対策として非常用発電機を、小学校の屋内運動場に整備する。令和2年度は、5校の設置工事を実施し、これにより、改修工事を実施している戸田東小学校を除く、小学校全11校への設置が完了する。



非常用発電機

#### ●防災基本条例策定支援業務【危機管理防災課】

7,658 千円

防災基本条例を制定し、市、市民、自主防災組織及び事業者などの責務・役割を明文化することにより、災害時における自助、共助、公助が連携して対応できる体制を構築し、防災対策の一層の推進を図るとともに、市民の防災意識の更なる向上を目指す。

※令和元年度からの継続事業

※令和3年4月1日施行予定

## ●ハザードブック改訂業務【危機管理防災課】

1,976 千円

市民の防災意識の啓発を図ることを目的に、戸田市で起こりうる災害等を一冊にまとめたハザードブックについて、国の「避難勧告等に関するガイドライン」の改訂や令和元年台風19号の教訓を踏まえ、改訂を行う。主な改訂内容は、防災情報における避難情報（警戒レベル・避難行動等）の追加、水害避難に関する情報の追加等である。



## ●一斉水害避難行動訓練【危機管理防災課】

5,536 千円

令和元年台風19号の教訓を踏まえ、戸田市において起こり得る荒川氾濫を想定とした訓練を実施する。荒川の堤防が決壊したとして、市内一斉に防災行政無線により警戒レベル5を発令し、市民一人ひとりが命を守る手段となる垂直避難を行動し、実践するものである。

## ●地域防災計画改訂業務【危機管理防災課】

3,647 千円

令和元年度に実施した災害対策本部訓練の検証を踏まえ、災害時の組織等体制の見直しを図る。見直しにあたり、国・県の計画、業務継続計画や各種マニュアル類との整合を図るとともに、最新の知見等も加えて地域防災計画の改訂を行う。

## ●地域強靱化計画策定支援業務【危機管理防災課】

1,187 千円

大規模災害が発生しても市民の生命を最大限守り、地域社会の重要な機能を維持する「強さ」と、生活・経済への影響、市民の財産などの被害をできる限り軽減して迅速な復旧・復興ができる「しなやかさ」を備える災害に強いまちを目指すため、令和2年度に地域強靱化計画を策定する。

令和2年度は、起きてはならない最悪の事態を設定し、分析・評価等により明らかとなった本市における脆弱性、最悪の事態を回避するための施策を計画に盛り込むとともに、評価指標の設定を行い、計画の完成を目指す。



## ●見守り防犯カメラ整備事業【防犯くらし交通課】

196千円

子どもの安全対策の一環として、通学路を中心とした不審者や事件事故多発地点に「見守り防犯カメラ」を設置し、犯罪の未然防止や事故の早期解決を図る。令和元年度に実施したモデル地区における事業（美女木小学校区に20台を設置）の検証を経て、令和2年度は11校区への設置に着手し、令和3年4月に全小学校区での稼働を目指す。



### 【債務負担行為】

- ・整備業務（期間：R2～R3）  
限度額：155,730千円に消費税及び地方消費税を加算した額
- ・維持管理業務（期間：R3～R6）  
限度額：71,067千円に消費税及び地方消費税を加算した額

## ●安全ステーション設置工事【防犯くらし交通課】

23,405千円

安全・安心な市民生活の確保のために、自主防犯活動の拠点となる「けやき安全ステーション」を設置する。旧けやき安全ステーションは、土地の返還に伴い、平成31年2月に閉所し、現在は、「ふれあい安全ステーション」（下戸田1丁目）に一時的に機能を統合して運営している。新たな場所に設置することで、市内の東西2か所を拠点に自主防犯団体支援や防犯パトロールを円滑に行うことが可能となる。



## ●東部分署庁舎改修工事【消防本部総務課】

21,083千円

人口増加に伴い急増する救急需要に対応するため、救急隊を令和3年度に現在の4隊から5隊へ体制強化する。配置場所は救急件数の最も多い東部地区を受け持つ東部分署とし、施設レイアウトを変更する改修工事を実施する。また、女性消防職員が働く施設環境が整っていないことから、併せて施設整備工事を実施する。



## ●緊急消防援助隊支援資器材【警防課】

6,322 千円

令和2年度に緊急消防援助隊（※）に高規格救急自動車1台及び救急小隊1隊3名を追加登録する。被災地での宿営に必要なエアーテントやその他資機材については、老朽化や不足等により現地での活動に支障をきたすおそれがあることから、新規購入し、迅速かつ適切な活動を支援する体制を構築する。



【国庫支出金 2,050 千円】

※緊急消防援助隊…阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、全国の消防機関相互による援助体制を構築することを目的に平成7年（1995年）に創設された。これにより、大規模災害等において被災した都道府県内の消防力では対応が困難な場合に、人命救助活動等を効果的かつ迅速な実施が可能となる。戸田市は、令和2年3月31日現在、6隊22名を登録しており、平成23年（2011年）の東日本大震災において出動した実績がある。

## ●消防車両の整備事業【警防課】

58,529 千円

消防車両更新計画に基づき、高規格救急自動車を購入すると共に、消防ポンプ車（消防団車両）の更新を行い、市民の暮らしを守るため消防体制の強化を図る。

【国庫支出金 14,818 千円】



高規格救急自動車



消防ポンプ車

## ●戸田市運転免許証自主返納促進事業【防犯くらし交通課】

1,687 千円

身体機能や認知機能の低下等により運転に自信がない場合に、運転免許証を自主返納できる「運転免許証自主返納制度」について、積極的な制度の周知を行うとともに、運転免許証を自主返納した者に対し、戸田市独自の特典として、自主返納者1人につき5,000円相当の公共バス回数券を配付する。なお、本事業は、平成30年1月から令和2年12月までに期間を限定していたが、免許証の返納による交通事故の未然防止に寄与するものとして引き続き事業を実施することとした。

## 4 緑と潤いのあるまち

### ●飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助金【環境課】

450 千円

埼玉県助成事業を基に、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術に対して補助金を交付する。飼い主のいない猫の繁殖を抑制して殺処分の減少を図るとともに、人と猫との調和のとれた共生社会を実現し、市民の快適な生活環境の保持につなげる。

### ●災害予防高木剪定業務【みどり公園課】

8,275 千円

倒木事故の予防を目指し、高木の管理方針を平成31年2月に策定した。近年、北部公園において台風に伴う高木の倒木が目立つことから、令和2年度は、北部公園内の剪定対象となる高木を剪定する。

### ●公園リニューアル計画策定業務【みどり公園課】

6,225 千円

公園リニューアル計画は、令和元年度に公園の将来像を定めた基本方針を策定した。令和2年度は、基本方針に定めた将来像を実現する方策をまとめた計画の策定を行う。

本計画の策定により、公園の将来像に基づいた魅力的な公園整備、市民等が集い憩える安心・安全な空間の創出等につなげる。



### ●喫煙制限区域における喫煙の罰則制定【環境課】

2,438 千円

令和2年3月戸田市議会定例会に、戸田市ポイ捨て等及び歩行喫煙をなくす条例の一部改正を上程している。喫煙制限区域内での喫煙者に対し、原則として指導等を行い、命令に従わない場合には1万円以下の過料を科すものである。

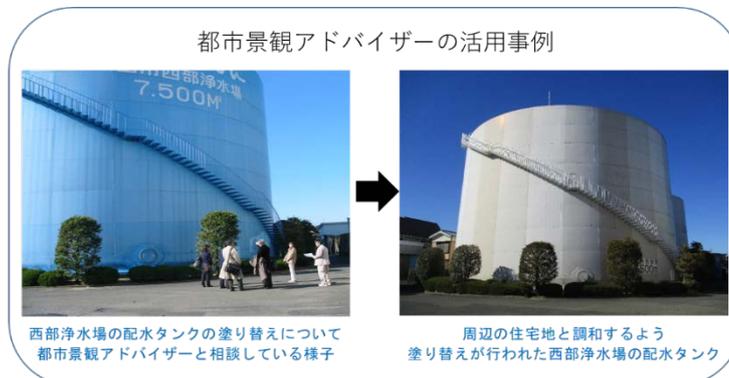
令和2年10月1日の施行に合わせ、リーフレットやのぼり旗を作成して条例改正の周知を図るとともに、喫煙制限区域内における指導勧告業務を行う。

## 5 快適で過ごしやすいまち

### ●景観の届出に関する事前協議制度【都市計画課】

1,125 千円

景観に関する届出制度を運用するなか、複雑化・高度化する案件が増え、周辺景観との調和や配慮すべきことについて調整を行うにあたり、現在の審査期間では時間が不足している。事業者、市、景観に関する専門知識を有する都市景観アドバイザーの3者にて、対話を中心とした事前協議の場を設け、良好な景観形成を推進する。



### ●戸田市分譲マンション実態調査業務【まちづくり推進課】

7,596 千円

分譲マンションにおける管理組合の運営状況、居住者が抱える問題等の実態を調査・把握し、建物の適正管理に向けた周知・啓発や相談体制の強化などにより、管理不全化を予防する。令和2年度から令和3年度までの2年間で戸田市内の全分譲マンションを対象に調査を実施する。

### ●交通安全施設設置事業【道路河川課】

34,828 千円



市内77箇所の保育施設の散歩コースや18箇所の小中学校周辺の通学路の危険箇所の調査を令和元年度に実施した。

その結果に基づき、歩道に車止めなどの安全施設を設置することにより歩行者の安全を確保する。

●歩行者自転車道路整備事業【道路河川課】

209,515 千円

交通事故の抑制に向け、歩行者の安全な歩行空間を第一義とし道路構造の再配分を行い、自転車通行空間を整備する。また、戸田東小・中学校周辺の東側の東部センター通りにおける通学路の歩道拡幅を実施する。

【国庫支出金 41,500千円】

【市債 117,100千円】

●河川維持管理費（さくら川浚渫業務）【道路河川課】

11,835 千円

さくら川上流の曲がりの部分について、土砂が堆積しやすく水の流れを阻害していることから、さくら川の河床に堆積した土砂の除去を実施することで、水の流れを良くし、健全な河川維持を図る。

●河川維持管理費（樹木（さくら）維持管理業務）【道路河川課】

11,779 千円

河川沿いのさくらの経年劣化が進んでおり、枯枝が多く倒木等の危険性があることから、剪定を行うことで枝落ちや倒木等の危険を回避するとともに、景観の向上を図る。

●上戸田川改修事業【道路河川課】

201,164 千円

上戸田川を整備し、治水安全度を向上させるとともに、快適な水辺環境の創出を図る。改修区域が新曽第二土地区画整理事業地区内にあるため、補償及び用地確保は特別会計において実施し、それに対して公共施設管理者負担金を支出する。

【上戸田川整備事業負担金 80,480 千円】



上戸田川

●水路改修工事【道路河川課】

12,202 千円

上戸田川については現況流下能力が小さく度々浸水を起こしていることから、浸水被害を軽減するために迂回水路の改修工事を行う。

●さくら川整備事業【道路河川課】

305,299千円

さいたま市との協定に基づき、さくら川の護岸整備工事を実施する。治水安全度を向上させ、浸水被害の低減を図るとともに、水の恵みを感じ、快適に生活できる水辺環境を整備する。

令和2年度は、下流側の笹目地区及び上流側の美女木地区で工事を実施する。



さくら川（美女木地区）整備後

●都市計画道路前谷馬場線整備事業【道路河川課】

173,629千円

第一工区の用地取得が完了したことから、整備工事に着手する。令和2年度は、電線共同溝整備工事を実施する。第二工区は、事業認可を取得し、用地取得の促進と用地買戻しを進める。



電線共同溝整備工事 施工例

(出典：国土交通省関東地方整備局ホームページ)

●戸田駅西口駅前交通広場整備事業【土地区画整理事務所】

60,750千円



戸田駅利用者の利便性と交通安全の更なる向上を図るため、駅前交通広場を整備する。2か年計画で実施し、令和3年度に完成予定。【継続費設定】

【令和3年度予算額 211,050千円】

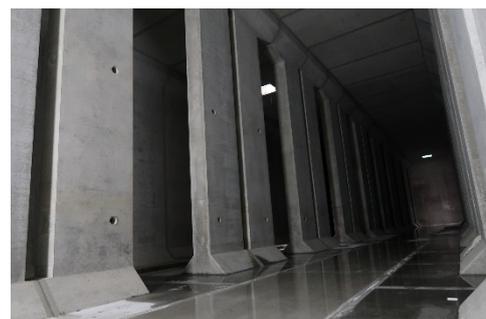
※整備イメージ

●調整池整備事業【土地区画整理事務所】

603,652千円

新曽第一土地区画整理事業の進捗状況に合わせて、地区内の浸水被害対策として、3号調整池の整備を実施する。2か年計画で実施し、令和3年度に完成予定。【継続費設定】

【令和3年度予算額 917,513千円】



消防署南側の調整池工事 施工例

## 6 活力と賑わいを創出できるまち

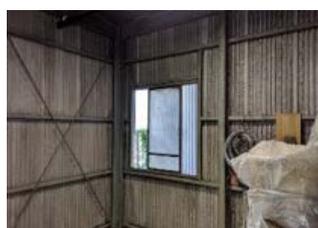
### ●女性職場環境整備補助事業【経済政策課】

5,000 千円

令和元年度に引き続き、女性用トイレや更衣室、休憩室等の改修等を行う中小企業に対して補助金を交付する。（令和3年度まで）

女性が安心かつ快適に働ける職場環境の整備を推進することで、女性の就労者数の増加及び中小企業の働き手不足の解消を図るとともに、市内企業が女性の職場環境改善に取り組む機運をさらに盛り上げていく。

～改修の例～



【改修前】



【改修後】

### ●人材確保支援事業【経済政策課】

17,974 千円

市内事業者の経営力強化・発展を図るため、人材確保に係る機会増加とスキル向上の支援を行う。機会増加においては、求人情報の掲載や転職イベントの出展ブースの用意等、スキル向上においては、セミナー及び個別相談会等を実施する。

## 7 人が集い心ふれあうまち

### ●広報動画制作・PR 支援業務【政策秘書室】

6,545 千円

リニューアルした広報紙に加え、市政情報や市民生活に役立つ情報などの動画を作成し、いつでも視聴でき、わかりやすいツールとしてホームページへの掲載やインターネットで動画配信するなど幅広い層に向けて情報発信をする。

また、広報紙、動画、SNS などそれぞれの特徴を活かしながら連携を図り、総合的かつ一体的な情報発信体制を構築する。



※リニューアルした広報誌

### ●魅力発信業務【政策秘書室】

2,418 千円

新たなとだ PR 大使の任命を進めるとともに、イベントへの出演、紹介コーナーの設置、市勢要覧への掲載など、とだ PR 大使の活躍の場を広げることで効果的に市の魅力を市内外へ発信し、まちへの誇りや愛着心の醸成を図る。



とだ PR 大使「夏菜」さん

### ●外国人市民相談窓口の運営【協働推進課】

4,942 千円

戸田市では外国人住民が増加傾向にあることから、戸田市役所3階26番窓口（協働推進課）に「外国人市民相談窓口」を開設する。相談窓口では、来庁した外国人に対し、外国語対応可能な相談員が、英語や中国語等により窓口案内や困り事相談等を行うことにより、的確かつ迅速に対応する。外国人にとっても言語の壁が取り払われ、安心感を得ることができると、多文化共生の推進につなげる。

【国庫支出金 2,505 千円】

### ●リバプール市友好代表団受入れ【協働推進課】

11,265 千円

令和元年12月に戸田市、オーストラリアカヌーチーム、海外姉妹都市であるオーストラリア・リバプール市の三者間で東京2020オリンピックでの事前トレーニングキャンプに関する覚書を締結し、オーストラリアカヌーチームが戸田ポートコースで事前トレーニングを行うこととなった。

オリンピック期間中は、リバプール市友好代表団の受入れを行い、カヌーチームの激励や市長・市議会議員表敬訪問等を実施する。



調印式の様子（令和元年12月3日）

●ディザスタリカバリサイト構築業務【情報政策統計課】

4,454 千円

「ディザスタリカバリ」とは、災害からの復旧を意味する。大雨、地震などの災害に備えるため、埼玉県市町村システム共同クラウドを活用し、戸田市のディザスタリカバリサイト（マシン室が機能停止した場合でも、モバイルパソコンを経由して各種データが保存されているファイルサーバを参照できる環境）を構築する。

●例規集データベースシステム改修業務【庶務課】

1,760 千円

例規集データベースシステムには、条例等を登載し、現在、市ホームページにおいて外部公開しているが、条例等以外の要綱、要領等（以下「要綱等」という。）に関しては未登載である。

要綱等は市民等の権利利益に直接的な影響があるものも多いことから、令和2年度において、要綱等を例規集に登載し、条例等と同様の管理体系を構築した上で外部公開を行う。

## 8 着実な総合振興計画の実行に向けて

### ●第5次総合振興計画の策定【経営企画課】

8,624 千円

本市におけるまちづくりの指針である総合振興計画が令和2年度に計画期間満了となることから、次期計画を平成30年度から令和2年度までの3か年で策定する。

#### ■令和2年度の主な事業内容

- ・ 基本構想案、基本計画案の検討
- ・ 総合振興計画審議会の開催
- ・ 計画書（本編・概要版）の作成、製本

### ●庁舎スロープ改修等工事設計業務【資産経営室】

22,100 千円

庁舎2階正面玄関へのアクセスの改善を図るため、既存のスロープに代わる新たなアプローチ環境を構築する工事の設計業務を実施する。

工事では、庁舎敷地内の花壇や芝生広場なども含めて一体的に再整備することで、来庁者の利便性向上とともにイベント時等での敷地の有効活用を図る。



## 子育て環境の充実に向けた組織づくり

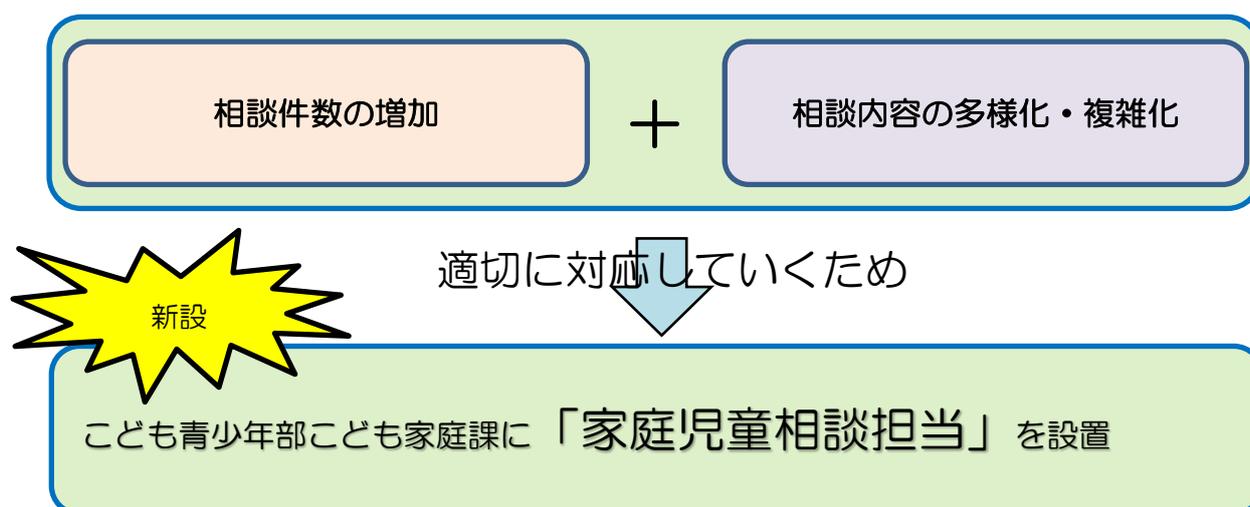
～令和2年度からの組織体制について～

市では、子どもや子育て家庭を取り巻く状況を踏まえ、妊娠期から学童期に至るまでの過程を切れ目なく支援してきました。これまで以上にこの取組を推進していくため、令和2年度に向け、2つの組織改正を行います。

### 1. 相談体制の強化（こども青少年部こども家庭課）

子育てに関する相談は年々増加しており、相談内容も多様化・複雑化しています。また、深刻な事態への対応は、社会全体で取り組む必要があることから、本市においても相談体制を強化する必要があります。

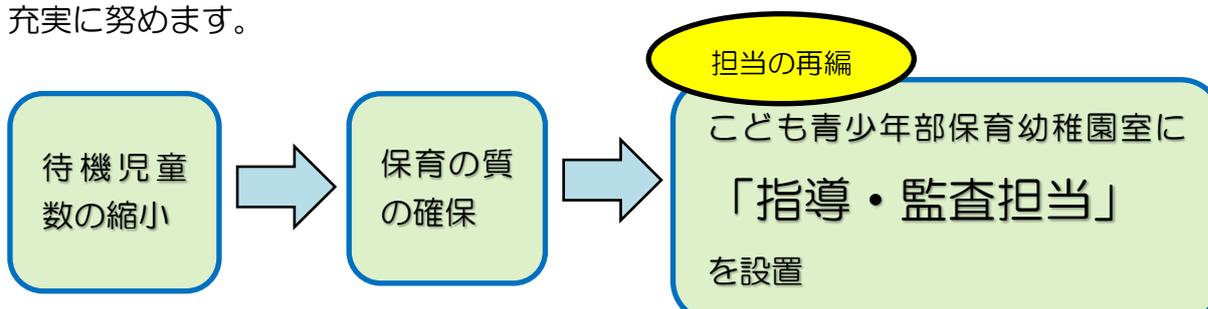
そのため、令和2年度からは、相談対応に特化した「家庭児童相談担当」を創設し、より安心して子育てができる環境づくりを目指します。



### 2. 保育の質の維持・向上に向けた体制整備（こども青少年部保育幼稚園室）

これまでの取組により、本市の待機児童数を大きく減少させることができましたが、その一方で、保育人材の確保や定着化をはじめ、保育の質の維持・向上に関する取組は引き続き行っていく必要があります。

そのため、令和2年度から、保育の指導・監査を担う担当を設置し、保育環境の充実に努めます。



## ●経費の削減、財源の確保に向けた実践的な取組み

戸田市では、限られた財源の中、真に必要な市民サービスに重点的に予算措置する一方で、以下の事例のように、事業手法の工夫による経費の削減や、財源の確保にも努めています。

### 債務負担行為の効果的な活用 【警防課】

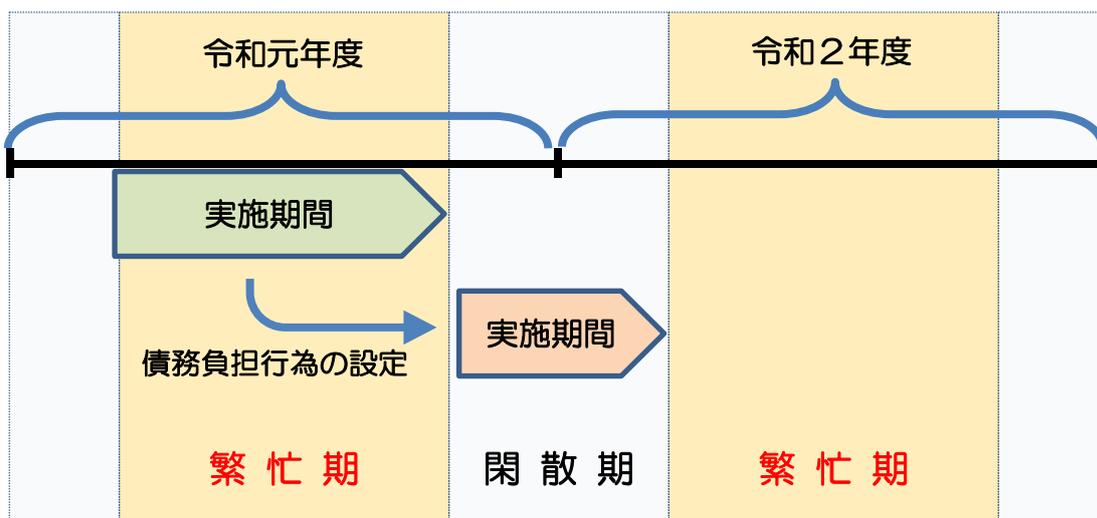
#### ■35m級はしご付消防自動車オーバーホール

はしご車は、定期的にオーバーホール（機械を分解し、清掃・調整を行い、再度組み立て直す整備）を行うこととされています。業者に委託して実施しますが、数カ月かかる作業となります。

戸田市では、他市町村と発注時期が重なる繁忙期を避け、年度をまたぐ期間に発注することで、通常よりも安い価格で、かつ短い期間でオーバーホールを実施しています。

市の予算は年度ごとに編成され、通常であれば、年度内に完了するように事業を実施しますが、「債務負担行為」を設定することで、年度をまたいだ発注ができるようになります。

#### 【オーバーホール実施期間のイメージ】



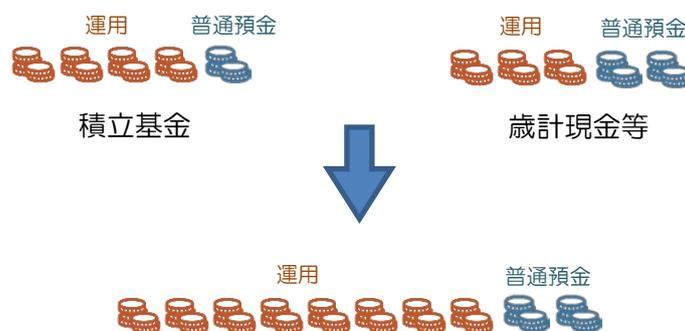
債務負担行為 …予算の種類の一つで、次年度以降の支出を担保するもの。複数年度にまたがる事業を実施する場合などに定める。

## 積立基金、歳計現金等の一括運用 【会計課】

戸田市には、一般会計・特別会計で合わせて11の積立基金があります。この積立基金と、歳計現金（各会計での収入金）等を一括運用することで、運用益を増加させています。

かつては、各基金の所管課ごとに、定期預金を中心とした運用を行っていました。しかし、取崩しに備えて各基金が普通預金に資金を残していたこと、また、現在の低金利の状況から、運用益は減少傾向にありました。

そこで、平成29年度から、積立基金の管理を一つにまとめ、債券による長期運用を開始しました。さらに、平成30年度からは、積立基金と歳計現金等をまとめた運用を開始しました。



これによって、運用に回せる資金が増加し、また、利回りの高い債券により運用することで、運用益を大幅に増加させることができるようになりました。

令和2年度の一般会計当初予算においては、基金利子は43,293千円、市預金利子は6,825千円と見込んでいます。

運用に当たっては、安全性、流動性を確保するとともに、収益性を向上させることに努めています。

様々な工夫を凝らして、経費の削減、財源の確保に取り組んでいます！



## 令和2年度 消費税率の引上げ分に係る地方消費税交付金の使途について

### 【歳入】

・地方消費税交付金(社会保障財源化分) 12.7億円

### 【歳出】

・地方消費税交付金(社会保障財源化分)充当事業に要する経費 110.7億円

### 【地方消費税交付金(社会保障財源化分)充当事業に要する経費】

(単位:千円)

事業名		経費	財源内訳				
			特定財源			一般財源	
			国県 支出金	市債	その他	引上げ分の 地方消費税 (社会保障財源 化分の地方消 費税交付金)	その他
社会福祉	障害者自立支援事業	2,735,685	1,798,275			213,840	723,570
	高齢者介護予防・生活支援事業	165,809			11,549	35,189	119,071
	施設型給付事業(民間保育所)	4,507,063	2,528,863		479,866	341,796	1,156,538
	学童保育室事業	650,028	247,918		64,574	76,998	260,538
	小計	8,058,585	4,575,056		555,989	667,823	2,259,717
社会保険	国民健康保険特別会計繰出金	1,137,248	251,590			202,035	683,623
	介護保険特別会計繰出金	1,080,501	66,252			231,368	782,881
	小計	2,217,749	317,842			433,403	1,466,504
保健衛生	感染症対策事業	549,622	23,479			120,022	406,121
	親子保健事業	242,733	26,483		2,534	48,752	164,964
	小計	792,355	49,962		2,534	168,774	571,085
合計		11,068,689	4,942,860		558,523	1,270,000	4,297,306

## 令和2年度 競艇事業収益金充当に関する調

(単位:千円)

(款別)	事業名等	充当額	説明	構成比
【一般会計】				
(総務費)				
	安全ステーション設置工事	6,552	○工事請負費	
小計		6,552		1.3%
(民生費)				
	喜沢南保育園改築	39,410		
小計		39,410		7.9%
(土木費)				
	歩行者自転車道路整備	22,736	○工事請負費	
	さくら川整備	42,231	○工事請負費	
	道路築造等整備	7,770	○工事請負費	
	下水道費(負担金)	65,694	○負担金及び補助金	
小計		138,431		27.7%
(消防費)				
	消防車両の整備事業	7,113	○備品購入費	
	東部分署庁舎改修工事	3,325	○工事請負費	
	小学校屋内運動場非常用発電機設置	3,785	○工事請負費	
小計		14,223		2.8%
(教育費)				
	小・中学校屋内運動場空調設備設置	13,966	○工事請負費	
小計		13,966		2.8%
(諸支出金)				
	地方公共団体金融機構納付金	103,425	○地方公共団体金融機構納付金	
小計		103,425		20.7%
<b>合計【一般会計】</b>		<b>316,007</b>		<b>63.2%</b>
【国民健康保険特別会計】				
(保険給付費)				
	療養諸費	68,196	○療養諸費	13.7%
【市民医療センター特別会計】				
(総務費)				
	総務管理費	31,590	○一般管理費	6.3%
【新曽第一土地区画整理事業特別会計】				
(事業費)				
	事業費	64,495	○工事費	12.9%
【新曽第二土地区画整理事業特別会計】				
(事業費)				
	事業費	19,712	○工事費	3.9%
合計【特別会計】		183,993		36.8%
<b>総合計【一般会計+特別会計】</b>		<b>500,000</b>		<b>100.0%</b>

## 令和2年度 防災減災基金充当に関する調

(単位:千円)

事業名	事業費	充当額	説明
【一般会計】			
(土木費)			
橋梁補修	42,478	25,000	○工事請負費
水路改修	12,202	8,000	○工事請負費・委託料
さくら川浚渫	11,835	7,000	○工事請負費
小計	66,515	40,000	
(消防費)			
小学校屋内運動場非常用発電機設置	32,615	20,000	○工事請負費
消防ポンプ自動車(消防団車)	22,267	20,000	○備品購入費
河川監視システム更新(更新、保守、利用料)	9,347	5,000	○委託料
戸田市防災基本条例策定支援業務	7,480	5,000	○委託料
救護所(市民医療センター)用備蓄品	6,653	5,000	○備品購入費
防災備蓄品(経常分)	16,277	4,000	○備品購入費
ハザードブック改訂	1,976	1,000	○委託料
小計	96,615	60,000	
合計【一般会計】	163,130	100,000	

## 令和2年度 森林環境譲与税の用途について

(単位:千円)

事業名	予算額	充当額	説明
【一般会計】			
(総務費)			
公共施設等整備基金積立金	17,644	5,000	○積立金
小計	17,644	5,000	

森林環境譲与税については、公共施設等整備基金へ積み立て、公共施設の建て替え等に際してその内装の一部を木質化する木造公共建築の整備や植林・育林体験活動、森林の機能に関する野外学習などに使用することを想定しています。

## 令和2年度 戸田市水道事業会計予算

### 1. 収益的収入及び支出

(単位:千円)

科 目 名		令和2年度当初予算額	令和元年度当初予算額	対前年度比較	
				金額	伸び率(%)
(収入)					
第1款	水道事業収益	2,636,125	2,628,435	7,690	0.3
主要な収益	給水収益(水道料金)	2,249,634	2,235,078	14,556	0.7
	その他営業収益 (分担金)	159,478	158,182	1,296	0.8
(支出)					
第1款	水道事業費用	2,490,398	2,477,367	13,031	0.5
主要な費用	原水及び浄水費 (受水費)	879,583	872,134	7,449	0.9
	減価償却費	726,723	712,885	13,838	1.9
(収入)－(支出)		145,727	151,068	△ 5,341	△ 3.5

### 2. 資本的収入及び支出

(単位:千円)

科 目 名		令和2年度当初予算額	令和元年度当初予算額	対前年度比較	
				金額	伸び率(%)
(収入)					
第1款	資本的収入	508,202	383,270	124,932	32.6
主要な収入	企業債	385,000	270,000	115,000	42.6
	工事負担金	96,697	96,527	170	0.2
(支出)					
第1款	資本的支出	1,388,979	1,570,709	△ 181,730	△ 11.6
主要な建設 改良事業	配水管布設事業	74,633	主な工事 ・配水管布設工事 ・東部浄水場電気設備更新工事 ・3号取水井更新工事 ・配水管更新工事		
	浄水場整備事業	311,228			
	配水管改良事業	527,239			
	小 計	913,100			
資本的収支不足額 (収入)－(支出)		△ 880,777	△ 1,187,439	306,662	△ 25.8

## 令和2年度 戸田市下水道事業会計予算

### 1. 収益の収入及び支出

(単位:千円)

科 目 名		令和2年度当初予算額	令和元年度当初予算額	対前年度比較	
				金額	伸び率(%)
(収入)					
第1款	下水道事業収益	2,889,744	2,869,357	20,387	0.7
主要な収益	下水道使用料	1,531,099	1,499,410	31,689	2.1
	他会計負担金 (一般会計負担金)	845,855	850,825	△ 4,970	△ 0.6
(支出)					
第1款	下水道事業費用	2,609,679	2,677,139	△ 67,460	△ 2.5
主要な費用	管渠費	142,630	168,431	△ 25,801	△ 15.3
	施設費	190,397	187,480	2,917	1.6
	流域下水道費	732,672	738,000	△ 5,328	△ 0.7
	減価償却費	1,122,703	1,107,270	15,433	1.4
(収入)－(支出)		280,065	192,218	87,847	45.7

### 2. 資本の収入及び支出

(単位:千円)

科 目 名		令和2年度当初予算額	令和元年度当初予算額	対前年度比較	
				金額	伸び率(%)
(収入)					
第1款	資本の収入	1,021,907	860,672	161,235	18.7
主要な収入	企業債	810,200	733,100	77,100	10.5
	国庫補助金	154,000	49,000	105,000	214.3
(支出)					
第1款	資本の支出	1,685,295	1,572,112	113,183	7.2
主要な建設 改良事業	雨水整備事業	167,862	主な工事 ・浸水対策工事 ・雨水工事 ・汚水工事		
	汚水整備事業	826,529			
	小 計	994,391			
資本の収支不足額 (収入)－(支出)		△ 663,388	△ 711,440	48,052	△ 6.8

# 令和2年度 戸田市予算マップ

